

総務企画部総務課長
山住 哲司 様

福祉事務所子育て支援課長 松田 禎子

会 議 要 録

名 称	平成 30 年度西予市保育所運営委員会	
事 務 局	西予市福祉事務所 子育て支援課	
	電 話 0894-62-6551	
	F A X 0894-62-3055	
開 催 日 時	平成 31 年 3 月 19 日(火) 10:00~11:25	
開 催 場 所	西予市本庁舎 2階会議室	
出席者	委 員	山本英明、井関陽一、河野秀雄、木下弘規、渡邊慶子、 井関拓郎、金光太、森田洋子、木綱恵美 委員 9名
	事務局	福祉事務所長 藤井所長 子育て支援課 松田課長、岩本課長補佐、清家係長 大野本、山下、高子 行政 計 7 名 総計 16 名
議事内容(要旨)	<p>1. 平成 30 年 7 月豪雨の影響について(資料 2)</p> <p>委員 旧野村保育所は 4 m 超の浸水であったが、それでも半壊なのか。</p> <p>事務局 鉄骨造で骨格がしっかり残っていたため、半壊という判定を受けている。</p> <p>2. 平成 31 年度保育所入所状況について(資料 3-1、3-2)</p> <p>委員 現行では原則第 3 子以降が無料化であるが、第 1 子、2 子も無料化ということになれば財政負担はどうなるのか。</p> <p>事務局 10 月以降の無償化に関する市財政への影響は、ごくわずかと算定している。</p> <p>委員 中川保育園の入所児童数が定員を大幅に超えている。人口増加等が影響していると思うが、この現状をどう考えているか。中長期的な視点を教えてほしい。</p> <p>事務局 31 年度入所申請数が受入可能数を超えたため、保護者と相談の上、他園に移ってもらった事情がある。今</p>	

	<p>後については、法人と話し合いながら進めていきたい。</p> <p>3. 幼児教育の無償化について（資料4）</p> <p>委員 認可外保育の利用について、遠方の認可保育しか空いていない場合は無償化の対象外となるのか。</p> <p>事務局 認可保育と認可外保育を併用しておらず、保育の必要があると認定されていれば、無償化の対象となると県からの説明を受けている。</p> <p>4. 今後の保育所運営について</p> <p>○短時間延長保育の見直しについて（資料5）</p> <p>委員 定額制のほうが従量制よりも事務負担が少ないのではないか。とは言っても、現行の月 1,000 円定額制は安いと思うので、もう少し上げてもいいのではないか。</p> <p>事務局 現場の意見を参考にした上で検討していきたい。</p> <p>○高山保育所の民営化等について（資料6）</p> <p>委員 現場から民営化してほしいと意見があったのか。</p> <p>事務局 先程説明したとおり、地域、保護者から新築、民営化への要望があった。</p> <p>委員 明間保育園は31年度休園するのか。</p> <p>事務局 休園する。下宇和保育園に移る児童が大半である。再開時期は、避難指示区域の解除時期を見て判断したい。</p> <p>5. その他</p> <p>委員 保育所を集約しようという動きはあるのか。</p> <p>事務局 保育所のみではなく、子育て支援全体として来年度検討していく予定となっている。</p> <p>委員 野村保育所の入所児童数と定員の均衡がとれている一方、野村幼稚園は均衡がとれていないがどうしてか。</p> <p>事務局 野村幼稚園の定員は設置当時（昭和28年）の設定となっており、当時より共働き世帯の増加が影響していると思われる。</p>
備 考	